

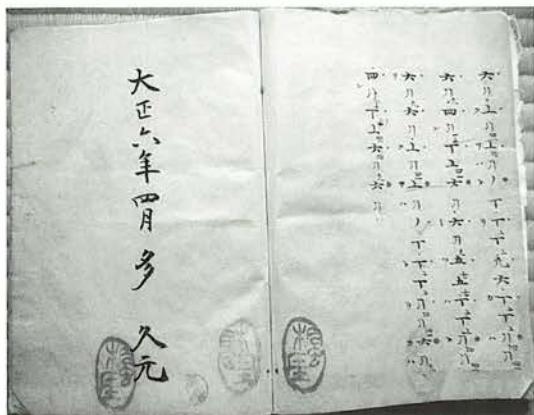
# 雅楽だより

## 《目次》

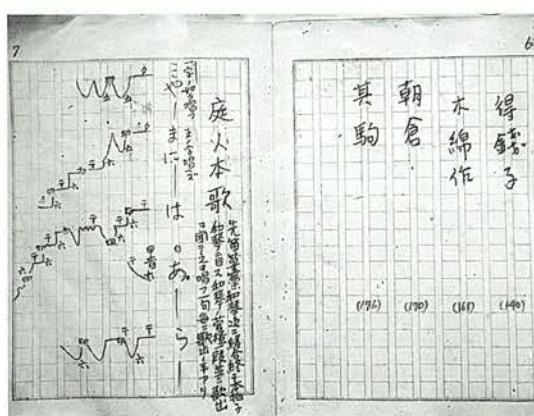
●平安雅楽会	1
●或る音楽の起源	
「コンサート・ジェネシス」の発想 2	木戸敏郎 3
●歌舞の起源	宮田まゆみ 7
●『戦火のマエストロ・近衛秀麿』	8
●現代語訳『楽家録』(6)	遠藤 徹 10
●これからどうなる? 筆葉用のヨシ	10
●鳥羽屋 小篠敏之氏	
選定保存技術保持者へ	13
●舞譜の作成・発売	13
●情報欄	14

第43号  
発行

2015(平成27)年10月  
雅楽協議会



多久元先生より指導を受けられた時の譜面



御神楽の譜面

「大正5年に平安雅楽会が生まれまして、宮内省の先生方にお越しいただき雅楽の伝承が本格化していきます。翌大正6年4月の日付の入りました多久元先生の筆葉の譜面も残されています。また、京都ですので御神楽の伝承も受けておりまして、東游、久米舞などとともに現在も伝承しております」

## 御神楽、東游も伝承

「大正5年に平安雅楽会が生まれまして、宮内省の先生方にお越しいただき雅楽の伝承が本格化していきます。翌大正6年4月の日付の入りました多久元先生の筆葉の譜面も残されています。また、京都ですので御神楽の伝承も受けておりまして、東游、久米舞などとともに現在も伝承しております」

○平安雅楽会は、京都で最も古い伝統のある雅楽会です。平安雅楽会の歴史を教えていただけませんか。

「平安雅楽会の歴史は、遡りますと千年余の歴史となります。明治3(1870)年に太政官の中に雅楽局が設けられ、三楽所の

樂家の人々は召出されて東京に行ってしまいました。その後、京都は、ことに神社、寺院の多いところであり、その式典に必要な雅楽の演奏はとても事欠き、残された京都在住の

樂家の老人たちによって細々と伝えられていました。これは祭事や法要が務まらないというので、神職や僧侶の中から樂家の老人たちに伝習を受ける者が出てきました。

一方、東京遷都によって、京都御所に勤仕していた士分の者たちは、職を失い困っている者も多く、明治天皇から子弟の奨学費として賜金されることになり、恩賜財團平安義会

が設立され、恩賜金の利子をもつて育英事業を行つたのでした。この会の中から雅楽を習おうとする人が集まり大正5(1916)年、京方の雅楽を伝承する平安雅楽会が生まれたのです。以来、御所に属する1200年の伝統を持つ、京都方の雅楽を伝承しているわけです。平安雅楽会は来年で100年を迎えます」

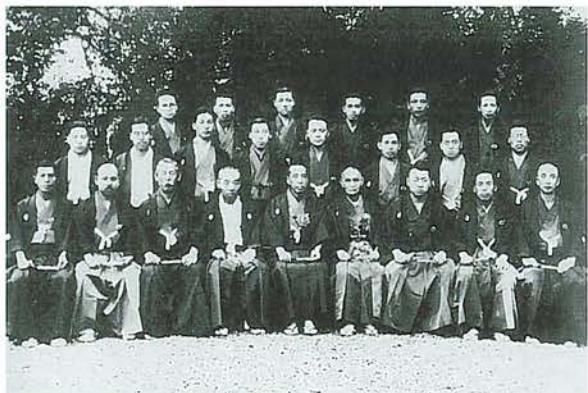
## 京方 平安雅楽会 葵祭・放生会など三大勅祭で奏楽



理事の今村三郎氏(左)、理事庶務の稻川昌実氏(右)



北野天満宮萬燈会 東游 昭和3年



平安雅樂会総会 昭和8年

○昭和の初めの写真がございますね。  
「昭和の初期の平安雅樂会の写真です。昔は宮内庁（当時は宮内省）の安倍季巖先生、

東儀和太郎先生などもお越しいただきご指導を受けました」

#### 勅祭で奏樂

○「雅樂だより」の情報欄を見ていて、平安雅樂会の演奏はとても多いように思いますが、年間どのくらい演奏されているのですか。

「京都は神社、仏閣が多いという事もありますがと思いますが、年間100回位は、いろいろなところで演奏しているのではないかと思います。そんな中でも、平安雅樂会の特徴は、勅祭の中でも三大勅祭（注）あります

賀茂神社の葵祭、石清水八幡宮の石清水祭、放生会とも申しますが、この二つで奏樂させていただいているのと、もう一つは春日大社の春日祭ですが、春日大社では12月17日の若宮おん祭りで南都樂所の方々と一緒に演



八坂神社 舞樂 太平樂 昭和30年



葵祭 陪從（道中姿）



葵祭で毎年奏される東游 写真・1984（昭和59）年

奏させていただいています。

ある意味では、日本のお祭りの三大勅祭の全てでご御奉仕させていただいているという事です」

#### 春日大社おん祭でも

○春日大社のおん祭で南都樂所の方々とご一緒に演奏されているとは知りませんでした。いつ頃からの事ですか。

「平城京から平安京遷都により奈良の楽人が手薄になり、京都から応援にいったなごりで今日に至っています」

#### 映画「羅生門」などの音楽も

○映画などでも音楽で出演されたと聞いていますが、どのようなところで演奏をされてきたのか教えていただけませんか。

「映画では『羅生門』『雨月物語』『山椒大夫』などの映画音楽の収録もいたしました。また1970年には日本返還前の沖縄で演奏しました。1979年は三千院の伝統行事『御懺法講』で宮内庁に代わって35年ぶりに声明、雅樂を奏しました。1980年には京都の姉妹都市であるアメリカのボストン市へも派遣され、演奏いたしました」

#### 源氏物語千年紀念式典

「最近では、源氏物語千年を記念した式典が2008年、平成20年に国立京都国際会館で開催されまして、式典では、青海波と蘭陵王を天皇皇后両陛下にご鑑賞賜りました」

○ 演奏の場が多いのでお稽古などはどのようにされているのでしょうか。

「稽古は、毎週水曜日の夜に錦天満宮で行っています。会員は神職、僧侶を中心にして教員や会社員の方々も参加されていて、頗る多彩ですね。年齢層は20代から80代と幅広いです。現在の会員は約70名で、会費は年間2400円です」

昔のお話などもたくさん聞かせていただきました。錦天満宮でのお稽古も見学させていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

（鈴木治夫）



天皇皇后両陛下、ご臨席のもと青海波を舞う平安雅楽会  
2008年11月1日 写真提供 共同通信社

（注）三大勅祭＝勅祭とは、天皇の使者（勅使）が派遣されて執行される神社の祭祀のことで、この勅祭の中でも、古式を参照した特殊な内容を持つものを特に「三勅祭」、又は「三大勅祭」という。三勅祭とは、賀茂神社（賀茂別雷神社・賀茂御祖神社）の賀茂祭（葵祭）・石清水八幡宮の石清水祭（放生会ともいう）、春日大社の春日祭の三つ。

広いです。現在の会員は約70名で、会費は年間2400円です」

昔のお話などもたくさん聞かせていただきました。錦天満宮でのお稽古も見学させていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

（鈴木治夫）



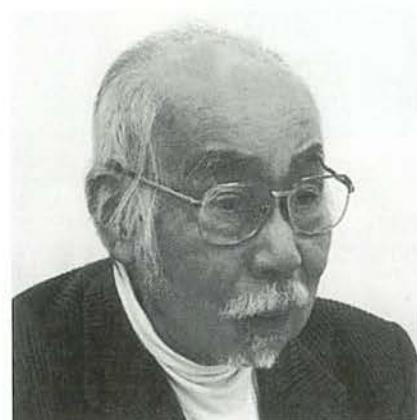
京都中京区 錦天満宮での練習 7月29日

○ 演奏の場が多いのでお稽古などはどのようにされているのでしょうか。

「稽古は、毎週水曜日の夜に錦天満宮で行っています。会員は神職、僧侶を中心にして教員や会社員の方々も参加されていて、頗る多彩ですね。年齢層は20代から80代と幅広いです。現在の会員は約70名で、会費は年間2400円です」

昔のお話などもたくさん聞かせていただきました。錦天満宮でのお稽古も見学させていただきました。ありがとうございました。ありがとうございます。

（鈴木治夫）



木戸敏郎氏

## 或る音楽の起源

### 「コンサート・ジエネシス」の発想（2）

木戸敏郎

#### 二、始原楽器の開発

##### 古代からの脱却

いま、私の手元には四種類のアングルハープがある。（次頁写真参照）

1 韶鳴胴は板張り 絃は絹 調律は組紐  
(正倉院縫転簾箜篌の復元)

2 韶鳴胴は板張り 絃は絹 調律は組紐  
(正倉院縫転簾箜篌の復元)

3 韶鳴胴は皮張り 絃はガット 調律は組紐  
(ルーブル美術館古代エジプトハープの復元)

4 韶鳴胴は皮張り 絃はガット 調律はペック  
(大英博物館董絵古代ギリシャハープの復元)

正倉院は八世紀であり、古代のエジプトやギリシャは紀元前のこと。歴史的にADとBCは同日に語ることのできるものではない。また、日本は極東、エジプトやギリシャは近東であり、地理的にも同日に語ることのできるものではない。然し、正倉院の二種類の箜篌の復元は二十世紀の第四四半期に私が手がけたものであり、古代のエジプトやギリシャのハープの復元は二十一世紀の第一四半期に私が手がけたものである。同じく私が手がけたものであつていざれも現代の所産である。また、正倉院の二種類の箜篌もエジプトやギリシャのハープも、復元製

作はいずれも日本で行われた日本製であり、然も表面加飾は意識的に一切排除している。つまりこの四つは歴史性も地理性もない現代日本の所産である。

歴史性や地理性を剥奪され、アンティークでもなければスープニールでもなくなつたとき、これらの楽器は構造だけの道具となつて同一のテーブルの上に並べることができる。同じ網目でありながら細部の構造や使われている素材に特色のある四種類のアングルハープとして認識されることになる。これららもはや古代楽器ではない。ここに至つて始原楽器という新しい概念が開発される。

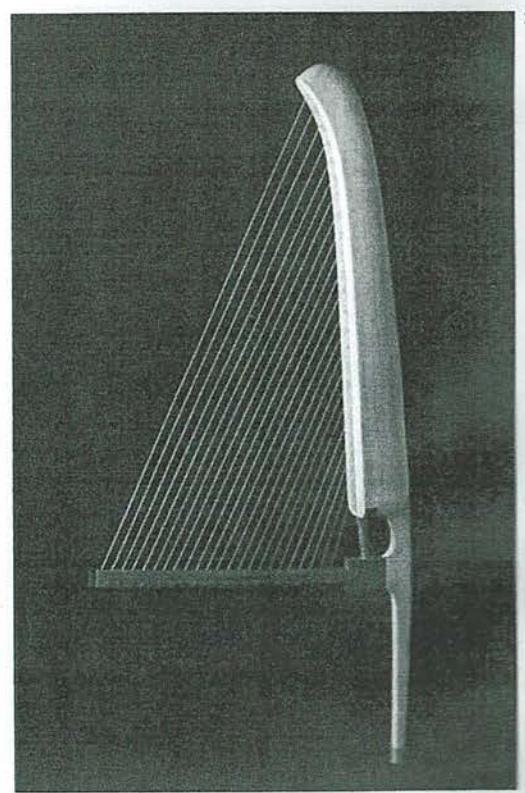
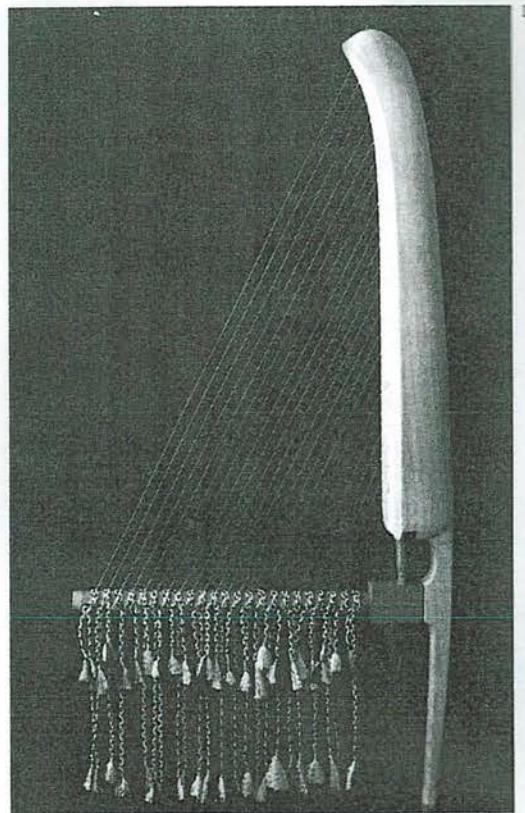
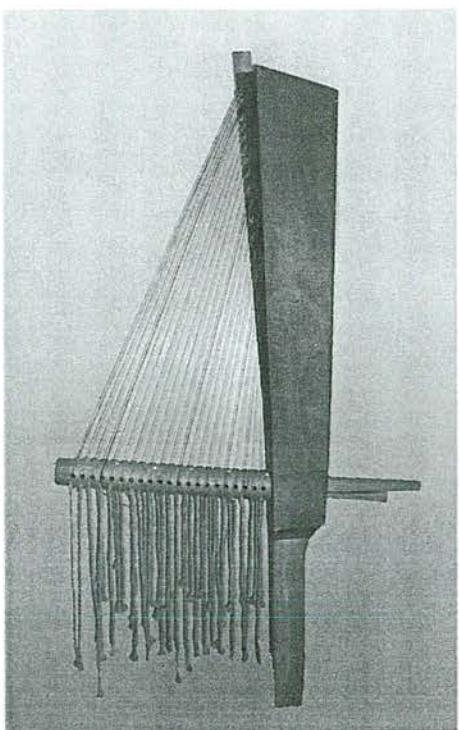
L字型の構造とその音の特色 II 音圧

アンガルハープ復元の嘴巣となつた、転轄笙箇に最初に絃を掛けた時（一九八三年）の戸惑つた経験をいまも鮮明に記憶している。現行の絃樂器に絃をかける一般的な方法は、

まず基音となる絃をかけてペックで調節して基本の音を調弦し、次にその絃の左右に二度ないし三度の間隔で高低の絃を追加して調弦してゆく。こうして或る秩序のある音階を調弦する。この方法で転轄笙箇に絃を掛けよう

とした。まず基本になりそうな長さの絃をかけてペックで調節して調絃する。絃のキャバシティに見合つた丁度いいテンションで得られた音は結構いい音がした。次にこれの左右に絃を追加してペックで調整し上下の音を追

加する。この調子でだんだん絃を追加してゆくと或る秩序を持つた音階が得られるはずだと考えた。



1. 韶鳴胴は板張り 絃は絹 調律は組紐（正倉院縦軸笙箇の復元）
2. 韶鳴胴は板張り 絃は絹 調律はペック（正倉院転轄笙箇の復元）
3. 韶鳴胴は皮張り 絃はガット 調律は組紐（ルーブル美術館古代エジプトハープの復元）
4. 韶鳴胴は皮張り 絃はガット 調律はペック（大英博物館壺絵古代ギリシャハープの復元）

かつた。  
1、響鳴胴は板張り 絃は絹 調律は組紐（正倉院縦軸笙箇の復元）  
2、響鳴胴は板張り 絃は絹 調律はペック（正倉院転轄笙箇の復元）  
3、響鳴胴は皮張り 絃はガット 調律は組紐（ルーブル美術館古代エジプトハープの復元）  
4、響鳴胴は皮張り 絃はガット 調律はペック（大英博物館壺絵古代ギリシャハープの復元）

アングルハープの腕木が突き出し構造であることには原因がある。通常、一般的の絃楽器と違つてアングルハープでは調絃の手順を変えることが必要だ。まず、二十三本の絃すべてを上字型を跨いで緩く掛けておく。すべての絃は等しく緩い状態で音にならない。次にこの二十三本の絃を同時進行でペックを操作して徐々に締めてテンションを加えてゆき、二十三本の絃のテンションと一本の突き出し構造の腕木のキャバシティとのバランスがとれたとき、即ち二十三本の絃が連関し合つて運命共同体となつたときが調弦の整つた状態である。

二十三本の絃の引張る力で上字型が狂つたとき、突き出し構造の腕木は先端に近いほど狂いが大きいはずである。即ち、低音部ほど不安定な状態である。また同じ力で引張られたときの絃のテンションは長さに反比例するから、長さが縮減する二十三本の絃の長い絃（低い音）ほどテンションが弱く、短い絃（高い音）ほど強いという現象が現れる。また、長い絃（低い音）は太い絃が鳴り易く短い絃（高い音）は細い絃が鳴り易いという音響物理学上の特質があるが、この太い細い絃はテンションに反比例するから太い絃ほどテンションが弱く、細い絃ほど強いという現象が現れる。アングルハープの音の情報量には絃の長短による音高の高低という音列とは別に、楽器の構造的な現象である音圧の強弱という音列も併存して現れる。日本には古く「水調子」みずちょうしという言葉が有つた。

言葉が有つたということは概念が有つたということだ。緩い絃の音を水滴の音に譬えた名稱で、音圧を情報量の一つと認識していた証拠である。絃が緩ければニュアンスのある演奏になる。いま水調子が聞かれるのは文楽三昧線の太棹ぐらいであるが、語り伝えられているパガニーニがヴァイオリンを一度ないし二度低く（絃を緩く）調律しておいて、演奏する際に指板の上で一度ないし二度高く運指で調整して演奏したということは、まさに水調子で演奏していたのだ。彼の悪魔的とも評された表現にはこんな仕掛けがあつた。

#### 繰転と転転||自然音列と調整音階

私が最初に復元した笙篌はペックで調律する転笙篌であった。組紐で調律する繰転笙篌は手ごわそつたから、まず手始めに転転笙篌から取りかかつたのだ。アングルハープには紐を使つて絃を締める繰転と、ペックで絃を締める転転の二種類がある。道具としてのランクから見れば、繰転は素朴であり転転がより精巧なメカニズムであるから、歴史的には転転から転転へと発達したのだろう。

然し、転転が開発された後も繰転は継続して用いられており、両者は併行して存在している。八世紀という同時代に繰転と転転の笙篌が併存したことを正倉院は証明している。その時点ではもはや転転と転転は道具の進化のプロセスではなく、調弦の仕掛けの多様性として理解すべきである。楽器的に言えば、ハープ網のアングルハープ目の繰転科と転転科として把握されるべきである。正倉院では表面加飾から螺鉗笙篌と呼ばれているものが構造的には繰転笙篌であり、ループルのエジプトハープも繰転である。また正倉院で漆笙篌と呼ばれているものは構造的には転転笙篌であり、大英博物館董絵のギリシャハープも転転である。

繰転の紐は組紐である。正倉院の繰転は上質の絹による精巧な組紐で、柔らかくて腰が強い。腕木に巻きつける際も自由に形が変えられるし、絃の下をくぐらせて腕木と絃でしつかり押さえこんでも傷まない。ループルのエジプトハープは近東には絹がなかつたから麻である。麻は絹ほど柔軟性はなく、腕木に巻きつけると空回りしかねないから、腕木を太くして摩擦面積を広く取り対応している。繰転の主要な役割は細い絃を直接腕木に締めるのではなく、細い絃をいつたん太い紐に結んで、太い紐を腕木に締めて絃を固定することである。これには充分耐えられる装置である。腕木に巻きつけた繰転の輪を回転させて絃のテンションを調整することもできるが、これには限度がある。

転転のペックはヴァイオリンのペックに酷似している。これも文明の大きさの一端を示すものであろう。正倉院の転転笙篌は腕木の断面横倒しのS字型を貫いて二十三個のペックが並んでいる。ペックは滑り易い油分の多い木が、腕木は撓り易い弾力性の強い木が使われていて、両方の相性が大切だ。転転の方は繰転より安定しており、より微調整が可能であるが、それは大前提としてアングルハープの自然音列を踏まえた上でのことである。

即ち、アングルハープにとつて自然音列は構造的な前提条件である。

繰転の方が自然音列に一層忠実に調絃できる。二十三本の絃の締め方に多少のばらつきが有つても、しばらく放置しておくと強すぎた絃はゆるんで自ずと均等な調和のとれたテンションになる。こうして楽器のキャバシティと絃の総合的な力とのバランスがとれたときの音列が、この楽器の音列である。それはまだ音階の態をなさない自然現象としての音列である。

私達はペックを見るとすぐ調律することを考える。事実転転笙篌は或る種の調律的な調絃は可能であるが、前提がアングルハープ特有の自然音列だから、これに若干の手を加えていくつかの絃を微調整して調性的調律をする程度である。ギリシャハープが転転であることは暗示的である。ギリシャにはドリア旋法という調性があった。転転を調節して調律するといつても十二平均律音階はできない。だいいちオクターブの中に音が十二もない、せいぜい五音階である。また平均律はその名のとおり計算して平均値を並べた音列であつて自然界には存在しない人為的な音列であるが、アングルハープは基本が自然音列であるから調律しても純正調の音階である。

#### 伝搬と変容||多様な音色

正倉院の繰転笙篌とループルのエジプトハープは、紐で調律する繰転のアングルハープであるということでは共通しているが、樂器を作っている素材が違つていて、正倉院の笙

篌は響鳴胴は板張りで絃は絹、ループルの工ジブトハープは、響鳴胴は皮張りで絃はガットである。また、正倉院の転軽箜篌と大英博物館壇絵のギリシャハープは、共にペックで調律する転軽のアングルハープであるということでは共通しているが、楽器を作っている素材が違っていて、正倉院の転軽箜篌は響鳴胴は板張りで絃は絹。大英博物館のギリシャハープは響鳴胴は皮張りで絃は恐らくはガットであった。このことを別の視点で整理すると、縦軸であれ転軽であれ、日本では響鳴胴は板張りで絃は絹、地中海世界では響鳴胴は皮張りで絃はガットであった、ということになる。

素材の違いは楽器学上の分類ではない。楽器学はオルガノロジーという名称からも解る

とおり音を出すメカニズムを研究する学問であり、アングルハープかフレームハープか、或いは縦軸か転軽かがオルガノロジーで扱う範疇である。極東は農耕文明であるから植物的素材が用いられ、近東は牧畜文明であるから動物的素材が用いられているのだ。これは文化人類学の問題である。同属の楽器が地域によつて素材が変わり音色も変わる。これをアンソロボロジーでは伝搬（トランスマッショーン）と変容（トランスフォーメーション）というテーマで扱っている。

四つの楽器の音は、アングルハープという構造の楽器に由来する音の構造が共通していることで、逆に音色の違いが前景化する。楽器の素材の違いは音色の違いとなつて表れて

くる。然しながらこの音色という概念はこれまであいまいな扱いを受け、ヨーロッパ近代の楽器学では疎外してきた。音は空気の振動を鼓膜が知覚したものであるとするのが音響物理学である。人間には何サイクルまで、犬にはもう少し違うサイクルまで知覚できるという。音は音波であり、楽器は音波を発生させるメカニズムである。その仕組みを研究するからオルガノロジーという。竹であれ水道の鉛管であれ同じ形をしている管なら同じ音波を発生させ、その音は同じである。竹や鉛という素材は音色には関係はない、と音響物理学では言う。然し、実際には素材の違いをなるべく無いように改良したのが現行の楽器である。

東洋にはこれとは違う音の概念が有る。楽器を物質によって分類する分類法「八音」である。西洋の音響物理学では納得できないことであろう。然し、木を叩けば木の音が、鉄を叩けば鉄の音がする。おなじ胎鳴楽器の音階でもマリンバは木の音が、グロッケンシュピールは鉄の音がする。物質のエネルギーが叩くという行為によって、音に変換されるのだ。現代音楽が音色を情報量として評価したとき、ヨーロッパの楽器でそれに応えられる樂器は殆どなかつた。わずかに最近まで樂器扱いをされていなかつた打樂器類が近代の音響物理学の洗礼を受けておらず、豊富な音色を持つていたので、音色を展開した音楽作品は打樂器による作品が多い。シユトックハウゼンの『チクルス』など、二十世紀後半のモ

ニユメンタルな作品となつている。

回復は今や時代の要請である。

ロシアの作曲家ソフィア・ダバイドーリナ

は民族樂器を使って作曲することが多い。然し、彼女は山口昌男氏との対談で「私は民族音樂には興味がありません。民族樂器に興味があるのです」と語つてゐる。民族音樂の多くは形骸化しているが、民族樂器は近代の音響物理学の洗礼を受けていないから、音を出る機械に近いものになつてしまつた。他の樂器も或る価値観の下にピアノと軌を一にした改良が進められて現在の樂器になつた。或る価値観、それはコンソートシステムに象徴されるオーケストレイションの価値観である。たくさんの音を同時に鳴らしても混じつた音が濁らないこと。そのためには各樂器の音の情報量を均一にしておく必要がある。この線に添つて樂器は改良され、オーケストラは透明な響きで精密機械のような音樂を構成することができるようになった。然し、その過程の中で樂器は道具から機械に変わつていった。

二十世紀後半の音樂運動にトータルセリフリズムと呼ばれている理論がある。二十世紀前半のセリーと呼ばれている理論は音高のみ限定した理論であったが、その理論を音高

だけではなく、時価・音量・音圧・音色などに も敷衍して、即ち、音の情報量をトータルにセリー主義で考察する理論である。シユトックハウゼン、ブーレーズはその旗手であるが他にもノーノーやベリオなどもこの運動に出て多くの重要な作品を残している。このような音樂運動が始原樂器に追い風となつて働いていることは幸いである。他方、クラシックでもオリジナル樂器による演奏が盛んになつた。樂器におけるさまざまの情報量の



# 歌舞の起源

—遊ぶものは神である。神のみが、遊ぶことができた。

宮田まゆみ

(「遊字論」冒頭、『文字逍遙』所収)

文**舞**を見ると巫女の手鈴の形そのもの。木の柄に小鈴をいくつもとりつけた姿がはつきり見られる。のちの時代の金文**舞**になると、字の中央に鈴音を表すと思われる「白」が加わるが、古い字形では「白」がなく、柄と小鈴だけである。

巫女さんたちは天を見上げて鈴を振り、地に向かって鈴を振る。鈴の音で神を招き、また地靈を呼び覚ます。

巫女舞でも、前出の人長舞でも、さらに渡来樂舞の唐樂、高麗樂でも、「足を突く」という、地面を強く踏む振りが数多くあるが、これも、もとは地靈の魂振り、魂鎮めの所作であろう。

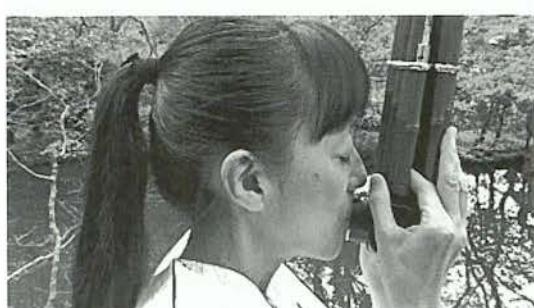
その磬を擊つ音を耳で聴く行為が「聲」。神を招く聖なる音を耳で聴くのが「磬」であった。今私たちは「声」というと人の声を思ふが、古代には「聲」の奥に深遠な世界が広がっていた。

磬の合図に打ち鳴らされるが、もとは古代中国の樂器だ。今、日本の寺にある磬は金属製がほとんどだが、古くは石製である。非対称的な三角形、あるいは「へ」の字形の面白い形をしているが、石器時代の耕作用の犁が前身ではないかといわれている。農耕儀礼に使われたのだろう。『尚書』には「擊石拊石、百獸率舞」と、石を叩き、獸に扮した人々の舞う様子が描かれている。

山西省夏県から夏代のものと思われる石の磬が発掘されているそうだ。殷代の磬には、石、玉、青銅製があり、安陽の殷墓からは、虎の紋様が彫られた美しい磬が出土した。殷代には、単独の磬のほか、三個一組、五個一組になつた編磬もあつた。下つて戦国時代の曾侯乙墓は壮大な編鐘で有名だが、ここから

は四十一個一組の編磬も出ている。これなら磬は神人相和する樂器といわれ、儀礼のはじめと終わりに擊たれた。白川先生はその演奏を「神を迎えるものであろう」(『漢字の世界』)と書いておられる。磬**磬**の字の要素のひとつ「聲」は、樂器の磬の象形。上の「土」の部分が石を吊るす木枠で、下が「へ」の字の石だ。「殷」のつくりの「几」は桴(ばち)。手をあらわす「又」で桴をもつて石を叩く。文字の下の「石」の部分は後の時代につけくわえられた。

その磬を擊つ音を耳で聴く行為が「聲」。神を招く聖なる音を耳で聴くのが「磬」であった。今私たちは「声」というと人の声を思ふが、古代には「聲」の奥に深遠な世界が広がっていた。



笙を演奏する宮田まゆみ氏

「歌」も「樂」も「声」も私たちは人間中心の捉え方をしがちだが、本来は人間を超えた大きな存在と結びついている文字だったのだ。古代中国に生まれたその文字は、しかし今も私たちの社会で生き生きとした生命を保っている。右の三例も、「身近に」とは言い難いが、少し足を運べば見られるものばかりである。正式の宮中御神楽は非公開なので一般には参観できないが、一般的の神社で、たとえば毎年八月十二日に仙台・大崎八幡宮で、十二月十六日に鎌倉・鶴岡八幡宮で各々催さ

れる御鎮座記念祭などでその一部を見ることができる。巫女舞も機会をみて神社に行けば見られるし、多くの磐は寺の本堂に置かれている。

文字を通して白川先生が解き明かしてくれた人のいとなみの秘密。知るほどに大きな世界が開けてくる。新鮮な古代を知つて、余分なものを脱ぎ捨て、さらに新しい世界が開けそうな予感がする。

(みやたまゆみ・笙奏者『白川静読本』)

2010年3月 平凡社刊 より転載)

その近衛秀磨が、第二次世界大戦中、ユダヤ人迫害が渦巻くドイツで、ユダヤ人の亡命を助けた杉原千畝(注)と同じように、ユダヤ人の亡命を助け、命を救っていたことが、戦後70年経つて米国の大文書館に残された資料から初めて明かされ、その経過が詳しく書かれている。近衛秀磨の人間性と行動力に驚き、感動した。



秀磨が指揮した、1933年10月3日のベルリン・フィルハーモニー定期演奏会  
(提供/ベルリン・フィルハーモニー)

## 『戦火のマエストロ・近衛秀磨』 菅野冬樹著

（ユダヤ人の命を救つた音楽家）

NHK出版

世界を股にかけて活躍した日本人指揮者



雅楽協議会の世話人でもある水谷川忠俊氏より、7月の末「NHK-BST1」で8月8日『戦火のマエストロ近衛秀磨 ユダヤ人の命を救つた音楽家』の放送があり、新しく見つかった米国公文書館の書類などで構成されています」と連絡がありました。後日また水谷川氏より「NHK出版から菅野冬樹著の同名の本が出ました。内容はテレビより詳しいです」と。早速に本を読み始めると吸い込まれるように一晩で読んでしまった。

本の冒頭に近衛秀磨の紹介として次のようにエピソードが書かれている。「その昔、テ

レビ番組で小澤征爾氏がこんなことを語っていた。「私は世界中のオーケストラを指揮しました。最初に五線譜にしたのは弟の近衛直磨で、オーケストラの譜面に編曲したのが近衛秀磨。

かけても、『あなたが二人目の日本人だ』と言われてしまう」。小澤征爾氏が、ヨーロッパで武者修行を始める30年以上も前、既に世界を股にかけて活躍する日本人指揮者がいた。その人物こそが近衛秀磨なのである。

(9P) と。



秀磨が指揮した、1933年10月3日のベルリン・フィルハーモニー定期演奏会  
(提供/ベルリン・フィルハーモニー)

名刺代わりに演奏した  
「越天楽」

秀磨は、名刺代わりに欧米で「越天楽」を指揮し、かつ「越天楽」に心酔したヨーロッパの人々との交流があつた。「越天楽」を最初に五線譜にしたのは弟の近衛直磨で、オーケストラの譜面に編曲したのが近衛秀磨。

秀磨の弟の直磨といえば、昭和の始め多忠龍(宮内省楽部楽長・芸術院会員)を師として迎え雅楽同士協会を結成した創立者でもある。この会は、後に日本雅楽会を作り、「雅楽鑑賞」を書いた押田良久が学生時代に雅楽を初めて学んだところである。今回連絡を頂いた水谷川忠俊氏は、日本雅楽会の顧問を長

く務められ、また雅楽協議会の世話人で近衛秀磨の次男である。

水谷川氏も強調し話されていた「秀磨は、名刺代わりに越天樂を演奏していた。直磨の書いた「越天樂」の五線譜を船の中でオーケストラ用の譜面に編曲し、雅楽の響きの越天樂を欧米人の演奏家に譜面を渡し、リハーサルをし、本番を迎える。秀磨は欧米の90余りのオーケストラの指揮をし、1934年から1943年までの10年間に、「越天樂」を57回演奏している。欧米人の演奏家もお客様も「越天樂」の演奏を喜んでくれなければ舞台に出することはできなかつただろう。

その証拠にフィラデルフィアオーケストラを指揮していたレオポルド・ストコフスキイは、「越天樂」を気に入つて、自らも指揮をしている。これらのことは全く知られていない。欧米の方方が雅楽の良さを知つている」と。

また、この本の著者の菅野氏は「秀磨が欧米で、世界的な音楽家たちと交流し、名だたるオーケストラの指揮台に立てた背景には、自らが日本人であることを国際的にアピールできる、「越天樂」があつたことも要因



越天樂を最初に五線譜にした近衛直磨が主宰する雅楽同士協会 結成(1930(昭和5)年暮)の写真  
後列右より2人目 近衛直磨、前列中央 多忠龍、後列右端 押田良久(写真・押田良信)

るが、現在「日本のコンテンツを世界に流通させよう!」などと、国が唱えているが、秀磨の活動を見れば、いま日本が行うべき「王道」がみえてくるのではないだろうか。(125P)

秀磨は、いま日本が行うべき「王道」がみえてくるのではないだろうか。(125P)

「いついかなる時も、私はどこにも属さない

#### 自由な音楽家でありたい

1933年、ドイツにヒットラー政権が誕生し、世界が戦争への道を突き進み始めた頃で、1933年9月にベルリンに入つて、ナチによるユダヤ人の迫害が始まった。ドイツでは優れた音楽家ですら生活に困る状況が生じた。

そんな中、秀磨はベルリン・フィルを指揮するというドイツ芸術家協会からの招待を受け、「文化外交特使」という日本を代表する身分で、1933年9月にベルリンに入つて、ナチ宣伝相のゲッペルスの主催するセレモニーに主賓として秀磨が招かれた時のことだった。「細身で小柄なゲッペルスが秀磨の傍までやつてきて囁いたのだった」「私に協力してくれるなら、あなたが望むすべての演奏会を実現させよう……」つまり、「ナチに服従せよ、分かつているだろうな」とゲッペルスは釘を刺しに来たのだ。肩書きと権力を振りかざして命令されることを極端に嫌う秀磨は、あえてゲッペルスに言葉を返した。「いついかなる時も、私はどこにも属さない自由な音楽家でありたい」と。秀磨の言葉を聞いたゲッペルスは一瞬驚いた表情を見せた。そして秀磨をしばらく見つめると、不敵な笑みを浮かべて、そのまま会場から去つたのである。秀磨は以後、ゲッペルスに執拗にマークされることになつて、秀磨の脳裏には会場を後にすることになるべく。秀磨の姿が残り続けたことだろう」(106P)と。

近衛秀磨に関する資料により明らかになったという。

#### コンセル・コノエ

「亡命オーケストラ」

1940年ドイツはフランスに侵攻する。1942年に入ると、パリでは、フランス国籍以外のユダヤ人狩りが激化し、7月16日には13000人のユダヤ人が逮捕されて収容所に送られている。

そんな中1943年9月、秀磨はレジスタンスからの情報として、翌年1944年5月から6月にかけてボーランドに生存するすべてのユダヤ人を抹殺する計画があることを聞かされた。秀磨は収容所にいる友人を想い、親交の深いカールとともに、幾多の計画を実行する。その様子を本書より引用してみる。

「もはや迷いはない。秀磨はカールに提案するのだった。「新たなオーケストラを二人で結成しよう」付き合いの長いカールは、秀磨が何を考えているのかが手に取る様に分かつた。カールもまた過去にナチの迫害を受けた芸術家をスイスへ亡命させたことがあり、優れた才能をみすみす強制収容所で失わせることはできないと考えていた。「フランスとベルギーで計画を実行すれば怪しまれない。よし、やろう!」(207P)「ユダヤ人というだけで迫害を受け行き場を失つた若き才能を『亡命させる』オーケストラを結成しようと誓うのだった。」(208P)

そして計画は実行され、繰り返される。や

り方は次の通り。

「優秀なユダヤ人の演奏家の多くを「コン

これは2014年、アメリカ国立公文書館の

セール・コノエ」に迎え、演奏会を開催する。

国境越えは公演終了後から行われる。逃走する楽員は、演奏を終えると移動用のバスには乗らずに私物とパート譜だけを持ち、秀磨の車のトランクに隠れる。国境越えでは、そのつどカールから渡される逃走ルートの記された地図をもとに、国境へと向かう。秀磨は国境へ向けて目を凝らし、ハンドルを握っている。検問所を抜けて国境近くに来ると、遠くの草むらからわずかに合図の明かりが点滅しているのが見えた。車から降り、合い言葉を告げると、秀磨はトランクから楽員を下ろしレジスタンスに引き渡す。レジスタンスとの合言葉に加え、不意に検問にかかるた際の合い言葉もすべてカールが用意していた。彼は実際にレジスタンスを支援するためのガソリンスタンドを確保しており、逃走際の給油とパート譜を屋根裏に隠す手配も万全だった。すべてはカールの指示どおりの段取りだった。その後、秀磨はカールが指定する給油所へ立ち寄り、楽員の私物とパート譜をその屋根裏に運び込む、それが繰り返されるのだった。(201P)

亡命の詳細は不明。著者は「なぜ『コンセール・コノエ』の活動は残っていないのか。調査を進めていくうちに「残さなかつた」のではなく、「残せなかつた」いや、「残してはならなかつた」のだという結論に至った。その背景にはドイツに占領されたフランスの暗い過去があったからだつた。」(212P)と。その暗い過去も細かく書かれている。今日もテレビで「命、難民の人々の姿や、

中東での空爆が映されて心が痛む。

戦争の時代に生きたマエストロ(巨匠)近衛秀磨の歴史から、音楽や芸術、さらに戦争について、学ぶことがたくさんある。(鈴木)『戦火のマエストロ』菅野冬樹著NHK出版 A5判285頁 2500円(税別)

(注) 杉原千畝。リトアニアのカウナス日本領事館の領事代理、「命のビザ」を発行して6千人のユダヤ人の命を救い、世界中から賞賛された。この話が明らかになつたのは戦後40年経つからのことである。

## 現代語訳『楽家録』(6)

監修 東京学芸大学准教授 遠藤徹

### 十三 三管総論

#### 第二十六 双調の曲不和の論

(この章の中では調名を以つて律名とする。以下は是に倣う)

ある人曰く「双調の声楽『楽曲』は、その宮の音が調和しないのは何故か。」曰く「これは笙の声が律を失っているからではないか。」

筆箋の双調の穴は、下無と黄鐘の正中「真ん中」に在る。よつてその声は(双調より)半律上黄鐘より一律半下になる。それゆえ是を吹くときは少しめらして「下」吹くのも一つの方法である。家の弟の季高は曰く、「奏楽が調和しないのは、笛もまた同じです。」念「深く考える」と、これは笙の声「和音」がこれを失う「笙の和音の誤りではないか」からか。

笙は十の調べ「和音」を吹くときは下八上七行の五管を以つて合竹とする。よつてその声

は少し正律よりも「下がる」。試しに下の管を除いて八上七行の四管を以つて合竹とする

と聲律「和音」は正しくなり、奏楽も、良く調和し、唱歌においてもまた合う。是に於いて、大神景元、豊原頼秋及び予「私は」その説に従いこれを試すと、その言葉に違いは無かった。また、弦を加えてこれを考察してみると益々調和する調べとなつた。ここに知る双調(の合竹)に下管を加えて奏するのは、その昔、笙の師が誤り伝えたものではないか。「双調で笙が下の管を加えて奏するのは、その昔の笙の師が誤り伝えたものではないか、ということが分かつた。」然るに他の調の樂曲の十の管の聲に於いては、古法の如く下の管を加えるのを良しとする。右に論ずる所は双調の一調の聲楽『楽曲』についてである。

(『笙の巻』)でも論じてあるので、それも参考にすること)

## 年々減り続ける 筆箋用ヨシ

ここ数年、高速道路の工事はまだ全く始まつていながら、筆箋用ヨシの採取ができる本数が減ってきていている。(6-2-③)

6) 上牧・鶴殿のヨシ原の筆箋用のヨシにもいろいろある。筆箋用ヨシとして、太さ、肉厚、硬さなどからみて宮内庁などに納める最良のAランクのヨシ、少し我慢すれば使えるBランクのヨシ、何とか使えるCランクのヨシに分けられそうだ。

昨年は、「宮内庁、伊勢神宮に納める本数を採取するのがやっとだつた」と聞いている。上牧・鶴殿のヨシが手に入らなければ、それ以外のヨシでなんとかしなければならない。それも致し方ないという事である。

民間の筆箋奏者は上牧・鶴殿でのB、Cランクのヨシも少なく調達も難しくなつたので関東では利根川渡良瀬遊水地のヨシを使用とも聞いているし、それ以外のヨシでも使えな

「筆箋用ヨシと一般的のヨシとの違いは、その生育環境の違いによる」

3年近くの調査の中での一つの結論は、「筆箋用ヨシと一般的のヨシとの違いは、その生育環境の違いによる」(6-1-3)というものがだつた。筆箋用ヨシとその他のヨシとの違いについてDNAを調べても、違いが出ず、同一の種によるとの結論が出た。ということは「筆箋用ヨシの生育環境を広げていく事ができれば、筆箋用ヨシを増やしていくことが出来る」という事となる。

いかと試されている方の話も聞く。

しかし「やはり上牧・鵜殿の良質のヨシの方が良い」という。「鵜殿以外のヨシもいろいろと試したが、鵜殿のヨシに勝るヨシは無かった」という生前の東儀兼彦先生の言葉を証明することでしかない。

## 第6回検討会

### 筆築用ヨシの生育条件

#### 土・水・つる草など

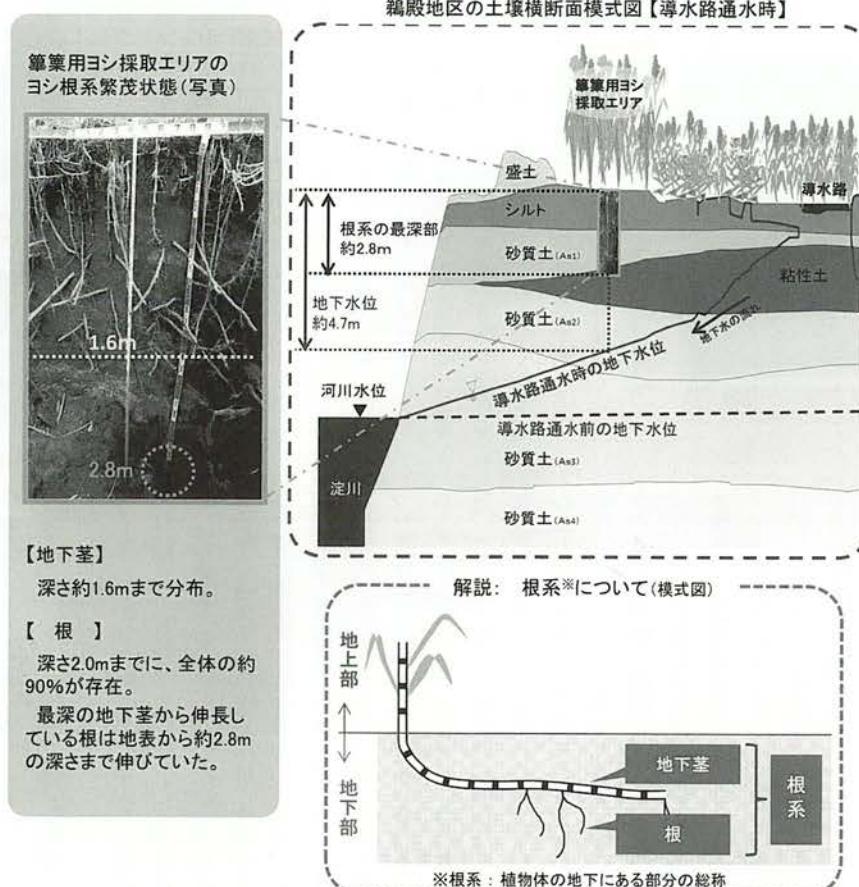
去る7月17日に第6回の検討会が開かれ、これまで調査してきた筆築用ヨシの生育環境について報告があった。提出された資料は、NEXCO西日本のホームページで見ることが出来るので、是非、これらの資料を見て各自で検討してほしい。

(NEXCO西日本のホームページを開き、トップページの「事業案内」をクリックし、「事業案内」のページの検索に「検討会」と入れると過去の検討会の資料が見られる)

#### 資料から分かること

過去の調査資料なども含め検討会の資料から分かることは、筆築用ヨシの生育条件は大きく3つ、土の条件、水の条件、そしてつる草などの条件に分けられそうだ。

それらを一つ一つ順に整理してみると次の様になる。(詳細はNEXCOの資料を直接参照してください。資料番号の記載例・(6-2-③-4)は、(第6回検討会資料2-③の4P)を示しています)



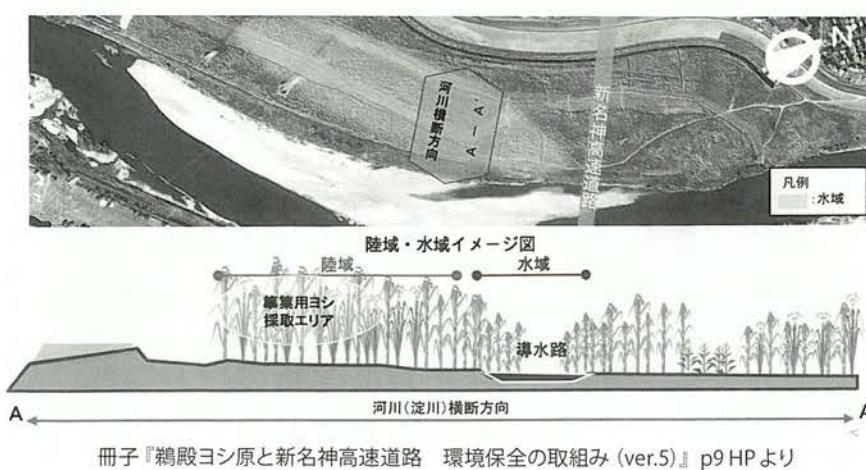
『鵜殿ヨシ原と新名神高速道路 環境保全の取組み(ver.5)』p8 HPより

#### 土の条件

##### 軟らかなシルト層(15cm以上)と

筆築用のヨシが生育するための土に関しての条件は、まず、土の成分(6-2-③-4)は、筆築用ヨシの生育場所でも他の場所でも違いは見られない。成分の内容については、(6-2-③-4)に記載がある。違うのは

土の成分ではなくて、土(シルト層と呼ばれる、砂と粘土の中間の粒径のものを大量に含む土質)や砂の層(砂質層)の深さと軟らかさである(6-2-①-15)。筆築用ヨシの採取できる場所は、軟らかな土層が160cmほどありその下に砂質層がある(6-2-①-16)。そのようなところは筆築用の太いヨシの生える茎や根は太く育っている。筆築用ヨシの根



冊子『鵜殿ヨシ原と新名神高速道路 環境保全の取組み(ver.5)』p9 HPより

系は主に深さ約2mまでの範囲に分布している(パンフレット鵜殿ヨシ原と新名神高速道路ver・5 P8)。それに引き換え、筆築用ヨシの採取できない場所は、シルト層が浅かつたり、硬かつたり(6-2-①-17, 18)、ヨシの根が深く育っていない。土の層が浅かつたり硬かつたりするとヨシは細いものしか育たないようだ。

## 水の条件

### 水分供給は降雨が主

水中や水に近いところのヨシは、もろく割れやすいので採取しない

ため、筆箋用ヨシには使えないという（6—2—③—1、6）。ヨシを生育させるためには

水が必要ということで、大量の水をヨシ原に流したが、結果的には筆箋用のヨシの生育とは逆の結果を生むこととなった。陸域のヨシは、水域のヨシに比べ草丈が高く、茎径が大きいヨシ（11～13mm）の割合が高い。肉厚が厚く単位体積重量が重い（6—2—①—7、8）

（6—2—①—12、13）（6—2—①—19）（6—2—②—17）。

筆箋用ヨシの生育場所は、標高が相対的に

高く、導水路の水とは関係なく、水分供給は降雨が主であるという（6—2—③—3）。さ

らに地下水がたくさんあつた方が、ヨシの生育を促進させのではないかと思われるが、調べてみると地下水位が低い方が、地下茎が発達し、筆箋用のヨシが育ちやすいという（6—2—③—1）（6—2—②—14）。

水域のヨシの平均茎径は8.5mmと細く（6—2—①—8）重量（平均単位体積重量）も軽い（6—2—①—12）。

つる草などがヨシにからまる

ヨシは倒されてしまう

筆箋用ヨシについては、土と水の条件の他に大事なのが、ヨシにからまりヨシを押し倒してしまう（6—2—③—6）つる草（カナ

ムグラなどのつる性植物）の対処であろう。

一昨年（2013年）台風が来て「29年ぶりの冠水で、栄養分がゆきわたり、ヨシはよく育つのでは」と期待されたが、残念ながらそのようにならなかつた。栄養分を真つ先に取りこんだのはカナムグラなどのつる植物で、どんどんと育つたつる草が、ヨシにからまりヨシをなぎ倒していく。

筆箋用ヨシは、水が多くても柔らかくなり使用できない。水分量は雨水程度が丁度良いようだ。すると地面は乾燥する。乾燥すれば乾燥に強い植物などが生育する。つる植物が生育するとヨシに絡みつきヨシを押し倒してしまう。筆箋用ヨシは育たなくなる。

これの対処法は、つる植物の芽が出たところで、芽を抜いてつる植物を取り除いていく。より他に方法は無さそうだ。逆に言えば、ヨシ原を歩かれての感想を「3年前に上牧・鶴殿（淀川河川敷）のヨシ原を歩いた時とは景色が明らかに違います。せつかく立派に育ったヨシの廻りには、魔の手（＝つる草）があちらからもこちらからも…。すでに太さ允分、あと3カ月して枯れたらいい蘆舌材料になりそうなヨシも生えているのですが、周りのヨシは、すでに草に巻きつかれ、倒されてしまつていて、残つたヨシがつる草に倒されるのも時間の問題です。残つたヨシを守るためにつる草を引き抜こうにも、あまりに多すぎ、元気が良すぎてとても無理でした。

ヨシ原を冬に火で焼けば、雑草の種も焼かれることにはならないそうです。今年のヨシ原焼きは雨で炎が燃え上がりらず、煙がくすぶつただけでした。ヨシ焼きできなかつた年は、守り育てていく力を感じます。来年もまた、いいヨシを手に入れ続けないと守つていけない。それと同じで、ヨシ原も手を入れていかないと守れない。

手を入れて守り育て来た里山などは、手を入れ続けないと守つていけない。それと同じで、ヨシ原も手を入れていかないと守れない。

筆箋奏者の中村仁美さんは、今年の9月に

ヨシ原を歩かれての感想を「3年前に上牧・

鶴殿（淀川河川敷）のヨシ原を歩いた時とは景色が明らかに違います。せつかく立派に育ったヨシの廻りには、魔の手（＝つる草）があちらからもこちらからも…。すでに太さ允分、あと3カ月して枯れたらいい蘆舌材料になりそうなヨシも生えているのですが、周りのヨシは、すでに草に巻きつかれ、倒されてしまつていて、残つたヨシがつる草に倒されるのも時間の問題です。残つたヨシを守るためにつる草を引き抜こうにも、あまりに多すぎ、元気が良すぎてとても無理でした。

ヨシ原は全国に多くあります。琵琶湖のヨシ原、利根川渡良瀬のヨシ原、淀川にも鶴殿ヨシ原の他に向島のヨシ原もあります。しかし、良質の筆箋用ヨシの生育場所は上牧・鶴殿ヨシ原以外にありません。筆箋奏者の全員が使用できる良質のヨシの本数を栽培できる場所を、上牧・鶴殿ヨシ原以外に探すことは広さや土壤の状態などから言つても無理でしょう。

今まで言つて来たことですが、雅楽を次世代につなげていくためには、上牧・鶴殿ヨシ原を筆箋用ヨシの生育するヨシ原として残し、守り伝えていく必要がありましよう。



背の高いヨシやオギに遮られて見えないはずの淀川が見渡せる  
2015年9月 写真 中村仁美



ヨシにからまり付くつる草  
2015年9月 写真 中村仁美

シにからまり付くカナムグラなどのつる植物を除去し、土と水との条件を満たせば、筆箋用ヨシは育ち増えていく。

手を入れて守り育て来た里山などは、手を入れ続けないと守つていけない。それと同じで、ヨシ原も手を入れていかないと守れない。

手を入れて守り育て来た里山などは、手を入れ続けないと守つていけない。それと同じで、ヨシ原も手を入れていかないと守れない。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）

採取エリアを拡大していくことも考えるべき

である」と発言された。

筆箋用ヨシの採取エリアを拡大できること

が分かつているからこそその発言である。

「筆箋用ヨシの採取エリアの拡大を」

7月17日、第6回の検討会の中で調査報告

の検討などの審議も終わり近くに、検討委員

より「今回の調査により筆箋用ヨシの生育環

境が分かつてたことから、これまでの採取

エリアの状況も踏まえつつ（筆箋用ヨシの）



第6回検討会 2015年7月17日 高槻市民会館 手前は傍聴席、奥は検討委員、オブザーバーの席

良いリードは、良い音色をだせる。検討委員会の調査結果を考察すると、簡単ではないが、まだ簾簾用ヨシを増やすことは十分できる。そして簾簾奏者みんなが使える本数に増やすことも夢ではない。

あきらめたら、数年後にはほとんど採取できなくなるだろう。1000年以上続く、世界に誇れる雅楽の音色を、私たちの代で絶えさせてしまってよいのだろうか。

今、岐路に立たされている。

ここ数年、簾簾用ヨシが激減していることは前述した。まだ高速道路の工事は全く始まつてないのに。

簾簾用ヨシは増やしていくける

ここ数年、簾簾用ヨシが激減していることは前述した。まだ高速道路の工事は全く始まつてないのに。

鳥羽屋は江戸末期の嘉永2（1849）年

Q 楽器の作成・発売

博雅会岩佐さんにお聞きしました

A 元々は私が生徒さんに舞を教える際にテキストとしてお配りしていたものです。要望がございまして、このようにまとめる事になりました。私自身、舞を習い始めた際に先生からどんな形でも良いので舞を譜面の形にして保存しておくのが上達への近道だというアドバイスを頂きました。これまで自分が習った事やメモ書きなどを整理したのがこの舞譜です。

基本的に教室で習った舞を家で復習する為に作ったものなので、この舞譜だけを見て舞を習得するというのは難しいと思います。かなり舞の用語も沢山使用していますので、どの文字で動き納めるか、という点だと思います。その辺りに気を付けて作成しました。

Q この曲目を舞譜に作られたのですか？

A 今回は「その1」として萬歳樂 賀殿破・急春庭花（一帖・二帖）北庭樂 承和樂。

「その2」は、桃李花 央宮樂 蘭陵王（出手・囃手・当曲破・入手）を収録しています。価格はそれぞれ5000円です。

演目・楽曲名	
チ	高士謡歌
ヤ	高士謡歌
ラ	高士謡歌
ア	高士謡歌
ロ	高士謡歌
ラ	高士謡歌
ア	高士謡歌
ハ	高士謡歌
リ	高士謡歌

雅楽の琵琶・楽箒・和琴の絃は全て鳥羽屋で作られている。もちろん宮内庁楽部で使用する絃も鳥羽屋製である。この度、鳥羽屋の代表取締役社長である小篠敏之氏（63歳）が父である小篠洋之氏の後を継いで文化庁より選定保存技術保持者に認定された。

「雅楽だより」では2007年10月号（11号）で取り上げさせていただいた。取材では絃の製作の難しさを教えていただくと同時に会長であった小篠洋之氏の「駕籠に乗る人担ぐ人 そのまた 草鞋を作る人 あくまで も、その、よいわらじを作る人でありたいと考えていました」という言葉が忘れられません。

Q どのような動機から舞譜を作られようと思つたのですか？

鳥羽屋は江戸末期の嘉永2（1849）年

この間の調査で、良質な簾簾用ヨシを育てる生育環境が明らかにされてきた。この調査結果を活用し、みんなの知恵と力と時間を集めて、簾簾奏者みんなが、次の世代でも最良のヨシを使えるように協力し合いませんか。世界に誇れる雅楽の音色を次の世代にも引き継ぎましょう。

今、その岐路に立たされている。（鈴木）（簾簾用ヨシの採取エリアは、上牧と呼ばれる「上牧実行組合」の入会権の地域ですので、実態に合わせて「鶴殿ヨシ原」を「上牧・鶴殿ヨシ原」と記載しました。下流側が鶴殿と呼ばれる地域です）

### 唯一の製造元

#### 鳥羽屋 小篠敏之氏

#### 選定保存技術保持者へ

雅楽の琵琶・楽箒・和琴の絃は全て鳥羽屋で作られている。もちろん宮内庁楽部で使用する絃も鳥羽屋製である。この度、鳥羽屋の代表取締役社長である小篠敏之氏（63歳）が父である小篠洋之氏の後を継いで文化庁より選定保存技術保持者に認定された。

「雅楽だより」では2007年10月号（11号）で取り上げさせていただいた。取材では絃の製作の難しさを教えていただくと同時に会長であった小篠洋之氏の「駕籠に乗る人担ぐ人 そのまた 草鞋を作る人 あくまで も、その、よいわらじを作る人でありたいと考えていました」という言葉が忘れられません。



絃のでき具合を確認する小篠さん  
写真 2015年7月18日付 京都新聞

小篠敏之氏は、「昨年の話になりますが、伊勢神宮の「鳶尾の御琴」の絃の製作をさせいただきました。この時製作した絃は、皇后陛下のお育てになつた「小石丸」という蚕の原種から取られた絹糸からです。「小石丸」というのは正倉院で色々なものの修理の時に使われていた絹糸で、繭も小さく糸にする時の歩留まりも悪いのですが、昔ながらの蚕の原種です。この「小石丸」の絹糸が、宮内庁から伊勢神宮へ、そして私の所へ届きました。「鳶尾の御琴」の絃として、内宮と外宮での二面分（12本）作らせていただきました。伊勢神宮では、絃を張る小川楽器店の小川眞紀夫さんと一緒に仕事をさせていただきました。

Q この曲目を舞譜に作られたのですか？

A 今回は「その1」として萬歳樂 賀殿破・急春庭花（一帖・二帖）北庭樂 承和樂。

「その2」は、桃李花 央宮樂 蘭陵王（出手・囃手・当曲破・入手）を収録しています。価格はそれぞれ5000円です。

A 元々は私が生徒さんに舞を教える際にテキストとしてお配りしていたものです。要望がございまして、このようにまとめる事になりました。私自身、舞を習い始めた際に先生からどんな形でも良いので舞を譜面の形にして保存しておくのが上達への近道だというアドバイスを頂きました。これまで自分が習った事やメモ書きなどを整理したのがこの舞譜です。

基本的に教室で習った舞を家で復習する為に作ったものなので、この舞譜だけを見て舞を習得するというのは難しいと思います。かなり舞の用語も沢山使用していますので、どの文字で動き納めるか、という点だと思います。その辺りに気を付けて作成しました。

Q この曲目を舞譜に作られたのですか？

A 今回は「その1」として萬歳樂 賀殿破・急春庭花（一帖・二帖）北庭樂 承和樂。

「その2」は、桃李花 央宮樂 蘭陵王（出手・囃手・当曲破・入手）を収録しています。価格はそれぞれ5000円です。

Q 購入するには?

A やはり教室のテキストですので、基本的には舞を習いに来て欲しいというのが本音です。それでも欲しい、という方には博雅会のホームページなどからメールで連絡頂ければ郵送にてお分けいたします。

Q 今後の舞譜発行の予定は?

A その他「管絃曲龍笛譜」「管絃小曲龍笛譜」「左右舞樂曲笛譜」「催馬樂朗詠譜」などがあります。自分が「こんな楽譜欲しいなあ」と思つたものを作ってきたもので、今後「三管兩絃譜」なども作成予定です。こんなものが役に立つのであれば、いつでもお分けしますのでお問い合わせ下さいませ。

### 秋～冬までの主な雅楽演奏会など

<b>大和高田市さざんかホール</b>	(奈良)
10月3日(土)午後6時 入場無料	
演奏 葛城樂所雅遊会 舞楽 女人舞樂原笙会	
主催 大和高田市文化協会	
問合せ Tel 0745-52-1475	
<b>パリ市白夜祭</b>	(フランス)
「まだ、あなたの知らない日本!@TOYAMA」	
10月3日(土)午後7時(現地時間)	
パリ市第10区サンマルタン運河架橋	
演目 平調調子 洋遊会	
演奏 五常樂 越天樂等	
後援 経産省、富山県	
問合せ Tel 076-421-1223	
<b>今宮神社 秋の大祭</b>	(京都)
10月8日(木)午後7時 宵宮祭	
10月9日(金)午前10時 東游	
演奏 平安雅樂会	
問合せ Tel 075-491-0082	

### 下鴨神社 大國祭

(京都)

10月9日(金)午後1時45分

舞楽 賀殿 納曾利 散手

演奏 平安雅樂会

問合せ Tel 075-781-0010

舞楽 胡蝶

演奏 平安雅樂会

問合せ Tel 0120-1192-40

### 四天王寺 経供養舞樂

(大阪)

10月22日(木)午後1時

四天王寺太子殿前

登天樂 散手

演奏 天王寺樂所雅亮會有志

問合せ Tel 06-6641-0084

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 0829-44-2020

舞楽 胡蝶

演奏 平安雅樂会

問合せ Tel 0120-1192-40

### 厳島神社 菊花祭

(広島)

10月15日(木)夕方より菊花祭祭典に引き続き

舞樂 振鉾 三節 萬歳樂 延喜樂 一曲

蘇利古 散手 貴徳 蘭陵王 納曾利 長慶子

演奏 小野真(相愛大學准教授・天王寺舞樂

協会常任理事)

問合せ Tel 0829-44-2020

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

Q

特別出演 元宮内庁式部職樂部首席樂長

豊英秋氏(打物・朗詠句頭) / 元宮内庁式部

職樂部首席樂長 大窪永夫氏(打物・樂箏)

贊助出演 女人舞樂原笙会

問合せ Tel 078-321-3851

<p>ルツエルン・フェステイバル アーク・ノヴァ (福島)</p> <p>11月1日(火・祝) 午後3時</p> <p>舞楽 陵王 芝祐靖作曲・脚本 「ポン太と神鳴りさま」ほか 演奏 伶楽舎</p> <p>春日大社 文化の日舞楽演奏会 (奈良)</p> <p>11月3日(火・祝) 午前10時祭典にて舞楽</p> <p>午後1時30分 神苑内 管絃 落蹲</p> <p>白柱 舞楽 振鉾 打球樂 登天樂 還城樂(左)</p> <p>長慶子 長慶子</p> <p>問合せ Tel 0742-22-7788</p>
<p>神奈川雅樂部第18回演奏会 (神奈川)</p> <p>チケットブレゼント有り</p> <p>11月3日(火・祝) 午後1時半 1500円</p> <p>かなづくホール (JR東神奈川駅徒歩1分)</p> <p>管絃 盤涉調音取 越殿樂 蘇莫者破</p> <p>舞樂 迦陵頻 五常樂 破・急 林歌(右)</p> <p>長慶子 高野山声明と雅樂</p> <p>問合せ Tel 045-931-1573</p>
<p>「kishinru」小音樂会vol・1 (東京)</p> <p>11月3日(火・祝) 午後2時</p> <p>定員10名 2000円 (with Tea)</p> <p>テボニティー(世田谷区)</p> <p>演目 平調調子・撥合 越天樂 陪臚 ほか</p> <p>演奏 石川高(笙) 中村かほる(樂琵琶)</p> <p>問合せ kokin7arr@gmail.com</p>
<p>全道雅樂交流会公開演奏 (北海道)</p> <p>11月6日(金) 午後6時 無料</p> <p>函館市芸術ホール</p> <p>管絃 黄鐘調(えんじょう) 越殿樂(さいおんらきよのは)</p> <p>舞樂 蘭陵王(らんりょうおう) 胡飲酒(ごんじゅ)</p> <p>演奏 道内各雅樂団体・函館樂所</p> <p>問合せ Tel 050-3699-8601</p> <p>高岡市合併10周年舞樂 (富山)</p> <p>11月7日(土) 午前10時</p>

高岡市ふれあい福祉センター  
舞楽 隘臥 演奏 洋遊会  
**問合せ** Tel 0766-64-2038  
**チケットブレゼント有り**  
**大曲 盤渉参軍を聴く**  
**国立劇場の復曲をふりかえる**  
11月7日（土）午後1時、午後4時  
國立劇場小劇場 一般席 4100円  
1時の部・4時の部セット料金7400円  
**第1部 午後1時**  
盤渉調 音取 大曲 盤渉参軍 序 一帖  
二帖 三帖 四帖 五帖 六帖 七帖 八帖  
九帖 十帖 十一帖 十二帖 十三帖  
**第2部 午後4時**  
盤渉調 音取 大曲 盤渉参軍 序 二帖 破  
一帖 二帖 三帖 四帖 五帖 六帖 七帖  
八帖 九帖 十帖 急〈参軍頌〉  
出演 十二音会  
予約開始 9月11日  
問合せ Tel 0570-07-9900  
**チケットブレゼント有り**  
**音輪会 第16回 雅楽演奏会** (京都)  
11月7日（土）午後4時半  
京都コンサートホール（ムラタ）  
前売3000円、当日3500円  
管絃 皇翫 遊聲 破 嘴踏 急  
雅楽アラカルト、露台乱舞  
問合せ Tel 077-572-2013  
**大阪万博記念公園** (大阪)  
11月7日（土）※荒天中止  
午前11時、午後1時30分（2回）  
日本庭園 中央休憩所（特設会場） 観覧無料  
曲目未定 出演 女人舞樂原笙会 ほか  
**第一部 ドランペツ演奏 タイガー大越**  
**銀座ヤマハホール**  
11月8日（日）午後2時

(米ボストン・バークリー音楽大学教授) クリヤ・マコト(ジャズピアニスト・作曲家)	主催 公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
第二部 雅楽と舞楽 演奏 十二音会	問合せ Tel 0470-62-6355
正行寺雅楽御堂 報恩講法要 (福岡)	11月14日(土)午後3時 春日山
舞楽 遷陵頻 春庭樂	11月15日(日)午前10時 正行寺
演奏 筑紫樂所	勤行・法話に続き舞楽 陵王
問合せ Tel 092-596-8585	11月21日(土)、22日(日) 午前10時と午後1時 舞樂 振鉦三節 五常樂 長保樂 胡飲酒 陪臚 長慶子 多度雅樂会 演奏 多度雅樂会
秋の舞樂会 六華苑 (三重)	問合せ Tel 0594-48-3484 11月21日(土)午後7時 兵庫県多可町文化会館ベルディーホール 前売 2000円 当日 2500円 高校生以下1500円(全席自由) 管絃 壱越調調子 新豊(夷越宮) 洒清子(えんさんせき) 酒胡(さけご) 胡(こ) 胡(こ) 舞樂 振鉦三節 胡飲酒 出演 博雅会 ゲスト 池邊五郎師 問合せ Tel 090-2114-1434 (イマナカ) imachus@gmail.com
兵主大社 紅葉ライトアップコンサート(滋賀)	11月21日(土)午後7時 兵主大社 参集殿 観覧無料 問合せ Tel 0799-23-1886 白浜柳花苑(はくはなりょうかえん) 演出 女人舞樂原笙会(じょじんぶらくげんしやい)

